

①

「2030年不確実な時代に備えて」大切な幼児期に何をどう学ぶか」

サピックスキッズ教育講演会を開催

小学校入学前のお子さんを対象にした「サピックスキッズ」は、学びを始める大切な時期に、これからの学習の土台となる力を育てる幼児教室です。幼児教育に定評のある「こぐま会」と提携して開発したプログラムで、楽しみながら学ぶことができます。「サピックスキッズ」ではさまざまな体験イベントを開催しており、今回は就学前のお子さんの保護者の方を対象に、11月23日(木・祝)に代々木の代ゼミタワーで行われた教育講演会の様子を紹介いたします。

予測が困難な時代だからこそ幼児期に幅広い基礎学力を

現在5歳のお子さんが大学入試を迎える2030年。近年の人工知能(AI)の急速な発達を考えると、人間とAIのそれぞれの役割は現在とは違ったものになっているものと思われま。先を見据えて、幼児期の今、何を学ぶべきなのか。あいさつに立ったサピックス小学部の高宮敏郎共同代表は、AIが東大入試に挑戦するプロジェクトに参加した経験から、AIが苦手なものとして「抽象化/モデリング」「リーディングスキル」「倫理観/世界観」の三つを挙げました。



「幼児期には幅広く基礎学力を身につけることがとても大事」と話す高宮共同代表

人間の場合、数学が得意な人は物事も得意というケースが多いのです。また、AIの研究者の「将来を正確に予測するのは難しい」ということを紹介しながら、「だからこそ幼児期には幅広く基礎学力を身につけることがとても大事です。お子さんと一緒に、遊びを含め、楽しみながら、さまざまなことに取り組み、お子さんの力を伸ばしてあげてください」と保護者の方にメッセージを送りました。

が、AIは数学は得意でも、現象を抽象化してモデル化する物理は苦手です。また、人の思いや因果関係はデータ化しにくいいため、文章をきちんと読み解くことも不得手です。さらに、民主主義などの「概念」を理解できず、政治や倫理の領域でも苦戦したとのこと。そう見ていくと、AIが社会に浸透していくなか、これからは、こうしたAIが苦手とする分野が得意な人ほど活躍できるものと思われま。高宮代表も「AIはルールを決められませぬ。ルールを決めるのは人間の仕事。どんな社会をつくりたいか、そういうビジョンや考え方がますます大事になってきます」と述べました。

先取りして「覚え込む」のではなく、考え方を「身につける」のが大切

続いて登壇した、こぐま会代表の久野泰可先生は、幼児期の教育について「読み・書き・計算を早く覚えればよい」という考え方を持っている人が少なくないことを心配します。「幼児期には幼児期の発達に合った、いわゆる教科学習の土台となる考え方をしっかり身につける必要がある」と言う久野先生。読み・書き・計算をこなす前に、遊びなどの生活体験を通して学習課題につなげていくという考え方でなければ、幼児教育は成り立たないと話します。

そして久野先生は、サピックスキッズの教育プログラムの基本的な考え方となっている三つの理念を紹介しました。すなわち「小学校での読み書き計算を、薄めて、やらせるのではなく、教科につながる基礎教育を実施する(教科前基礎教育)」「遊びのなかで、ものや人に働き掛けて認識能力を高めていく(事物教育)」「聞く力と話す力を中心に、言語を介して思考を巡らせ、考える



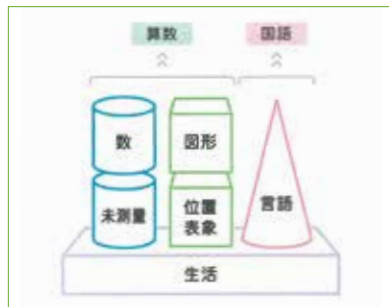
力育てる(対話教育)の三つです。こうした理念を踏まえ、算数や国語の教科前教育として行う六つの領域を説明(図1参照)。このうち「数」の領域において、今の子どもたちの課題として久野先生が挙げたのが「式(解法)を立てられるかどうか」です。

式を立てるには数学的な論理が必要になりますが、小学校の低学年の算数教育で重視されているのは計算力。しかし、それだけでは、いろいろな文章題や図形の問題が入ってくる4年生以降に壁にぶつかってしまいます。そのため、そうした計算の基本的な考え方については、公式を



久野先生は「学習においては、親子の対話を大事にしてください」と述べました

図1 カリキュラムを構成する6領域

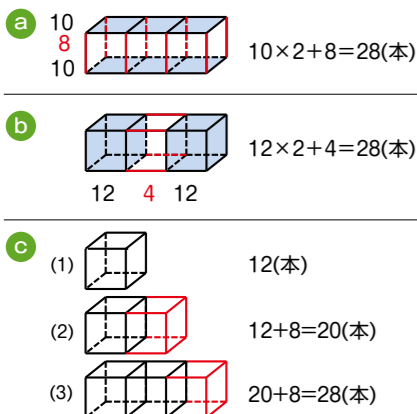


「生活」は日常生活で身につけていく理学的常識や社会的常識の学習、「数」の土台となる「未測量」は大小・長短・軽重など量の学習、「図形」の土台となる「位置表象」は前後・上下・左右など位置関係の学習

覚えるのではなく、小さいうちに生活のなかから教材を見つけて、「式の成り立ちの考え方」を身につけていくほうがよいと主張します。「図形」の領域も同様で、小学校の算数の教科書では三角形や平行四辺形などの図形の性質を「知識」として覚えさせようとしていますが、高学年になると図形の「感覚」が問われます。久野先生は「幼児期に必要なのは図形の性質を覚え込むことではなく、ブロック、積み木、粘土などを使った遊びを通して図形感覚を身につけることとして、将来を見据えた学びが大切だ」と言います。

図2 棒(辺)の数を数えよう

次のように、ねんど玉と竹ひごで形を作りました。竹ひごは何本使いましたか。



特別体験授業のご案内 新年中生・現年中生対象

- 日程
2018年2月11日(日・祝)
- 時間
新年中生 13:00 ~ 14:30
現年中生 10:00 ~ 11:30
※新年中生は、2013年4月2日~2014年4月1日生まれのお子さまとなります。
現年中生は、2012年4月2日~2013年4月1日生まれのお子さまとなります。
- 受講料
3,240円(税込) ※当日、現金にてお支払いください。
- 持ち物
【お子さま】 上履き、水筒(中身は水かお茶)、コップ、ハンカチ
※お子さまは動きやすい服装でお越しください。
- 申込方法
電話受付: 03-6276-8603
※詳細はサピックスキッズのホームページでご確認ください。

幼児教室 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-55-1 ベルヴェオオフィス代々木 1・2F
サピックスキッズ 代々木校 TEL.03-6276-8603 <http://sapixkids.sapix.com>